

## 会 議 録

審議会等の名称	平成29年第13回教育委員会（定例会）
開催日時	平成29年10月24日（火）14：00～14：28
開催場所	山口市役所別館1階第2会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	宮原委員長、佐々木委員、横山委員、竹内委員、佐藤委員、山本委員、岩城委員
欠席者	
事務局	中谷教育部長、磯部教育部次長、原田教育総務課長、伊藤教育施設管理課長、江山学校教育課長、岡崎社会教育課主幹、山田中央図書館長、磯部文化財保護課長、石川教育総務課主幹、岡本教育総務課副主幹
付議案件	報告事項 (1) 第二次山口市総合計画素案について (2) 平成29年度全国学力・学習状況調査における山口市の結果概要の公表について
	<p>宮原委員長      ただいまから、平成29年第13回教育委員会（定例会）を開会いたします。</p> <p>                    会議録の署名につきましては、佐藤委員さんと岩城委員さんをお願いしたいと思います。</p> <p>                    本日は、報告事項2件となっております。</p> <p>                    公開・非公開を確認する議案等はございませんので、順番どおりはじめたいと思います。</p> <p>                    それでは、報告第1号の「第二次山口市総合計画素案について」、事務局から説明をお願いします。</p> <p>原田教育総務課長      それでは、第二次山口市総合計画について御説明をいたします。</p> <p>                    お手元の計画書でございますが、この素案に基づいて御説明をいたします。</p> <p>                    第二次山口市総合計画につきましては、昨年度から、有識者や各種団体代表者等から構成いたします策定協議会を設置いたしまして、策定に向けた協議を行っておりまして、このたび10月18日に、策定協議会で素案が示されたものでございます。</p> <p>                    まず、1ページめくっていただきまして、目次を御覧ください。序論は1、2、3の3つで構成されております。計画の位置づけや本市の課題などを明らかにしておりますのがI序論でございます。</p> <p>                    それから、今後10年間の目指すべき本市の姿をあらわしたII基本構</p>

想、そして、その目標に向けて5年間の具体的な施策等について記載しておりますⅢ前期基本計画の3本の柱から構成をされております。

序論、基本構想部分につきましては、6月の研究・連絡会におきまして、骨子案として御説明をいたしたところでございます。その後、追加や字句修正等はございましたけれども、大きな変更はございません。

まず、20ページでございますけれども、本市の将来都市像を「豊かな暮らし 交流と創造のまち 山口 ～これが私のふるさとだ～」と定めまして、住んでみたい、これからも住み続けたいと思われるまちをつくっていくための共通の目標といたしております。

また、それを実現するために、都市政策の2つの柱を、21ページになりますけれども、高次都市機能が集積し、広域的な経済活力や交流を創出する広域県央中核都市づくりと、市内21地域が持つ地域資源などそれぞれの個性を生かし、その地域で安心して暮らすことができる個性と安心の21地域づくりとし、まちづくりを進めてまいります。

そして、25ページになりますが、目指すまちの姿といたしまして、5つの政策グループに分け、それぞれの分野別に目指す姿を明らかにしております。

教育に関しましては、政策グループ2、学び育み暮らしを楽しむまちの中に位置づけ、1番目と3番目が教育に関連しておりまして、それぞれ目指す姿を掲げております。

なお、計画の中で赤字になっている部分がございますけれども、そちらは、骨子案からの修正部分ということで御理解をいただければと思います。

基本構想部分につきましては、骨子案の段階で御説明を申し上げておりますので、この程度の御説明とさせていただきます。本日は、主に、前期基本計画における教育委員会が所管いたします部分について御説明をしたいと思います。

31ページからが、平成30年度から5年間の前期基本計画の部分でございます。

32ページでございますけれども、下の図におきましては、基本構想と前期基本計画との連動性と組み立てについてお示しをしております。緑の部分の前期基本計画では、先ほど申しました5つの政策グループを支える30の施策と128の基本事業を設定いたします。

また、それらを推進するに当たりまして、効果的に事業展開が行われるように、33ページに示しております8つの重点プロジェクトを掲げております。

教育委員会所管につきましては、その3番目の部分、「教育・子育てなら山口」プロジェクト、7番目の部分、「文化・スポーツ・観光」の一部の部分となっております。

40ページをお開きください。こちらが重点プロジェクト3、将来を担う子どもたちを育む「教育・子育てなら山口」プロジェクトでございます。ここでは、「子どもの生きる力」を育むことができる山口市で生まれ育ったら、自然と「知恵」と「学力」が育つ、「教育・子育てなら山口」という目標が掲げられておりますが、そのためには、先進の教育環境づくりを進める、または、その多くを大学・専門学校などが補填をしております学園都市としての特徴を生かしていきたいという形にしております。

その下、KPI——成果指標でございますけれども、このプロジェクトの成果指標を掲げておりまして、教育関連で言えば、2番目でございますが、全国学力・学習状況調査の比較等について、こちらを成果指標とすることと想定いたしております。

そして、その下の取り組みの方向性といたしましては、先進の教育環境づくりといたしまして、そこに掲げておりますとおり、全教室へのエアコン整備を初め、それぞれの重点的に取り組むべき事項について記載をいたしているところでございます。

次に、48ページでございます。こちらが、教育委員会の文化財関連部分でございますが、まず、重点プロジェクトの7といたしまして、あらゆる世代の方々が、山口の暮らしの豊かさに誇りが実感できるように、地域資源に磨きをかけて、新たな価値の創造や新たな交流・対流を創出し、各地域や市全体で都市戦略の取り組みを進めるとしております。

この中で、KPIにつきましては、ここに4つの項目が掲げてございますけれども、取り組みの方向性といたしましては、1の文化の薫る「創造都市づくり」の上から5番目、郷土文化、伝統芸能の普及支援でありますとか、48ページの下から2番目になりますが、観光地域づくりと連動した文化財マネジメントの強化、そのあたりが教育委員会の関連部分でございます。

次に、51ページをお開きください。こちらが施策別計画でございます。これは、実際に事業を実施していく事務事業を施策別に整理をいたしたものでございまして、そこに、カラーの図で重点プロジェクトとの位置づけが整理してございます。毎年度、実行計画において、こちらの見直しを行ってまいることとしております。

教育に関連するグループにつきましては、66ページ、政策グループ2のうち、施策①教育環境の充実と整備全般、それから、施策③のうち、基本事業（3）郷土の歴史や文化の保護・継承でございます。

67ページには、それぞれの施策の課題等について記載しております。

まず、施策1につきましては、大きい黒丸の一番上でございますけれども、急速な技術革新やグローバル化の一層の進展等、子どもたちを取り巻く環境が今後も大きく変化していくと。その中であって、次代を切

り開く「生きる力」を育むために、主体的な学びを支える教育環境のさらなる充実が必要になるとしております。

さらに、子どもたち一人ひとりにきめ細やかな支援や教育機会の提供が求められており、学校・地域・家庭が協働しながら取り組んでいく必要があるということを課題といたしております。

また、文化に関する部分におきましては、文化、芸術、歴史に触れ、次代に継承していくことが大切だと。すぐれた文化、芸術、歴史に触れる機会の必要性を課題といたしております。

また、本市固有の地域資源を活用して、その資源を継承し、本市への誇りや愛着の醸成、または、交流人口の拡大を図っていくことが求められているということといたしております。

そして、68ページでございますけれども、施策2-1に関する項目となっております。まず、ねらいといたしましては、子どもたちが豊かな心と確かな学力、未来を切り開くための生きる力を身につけていますということといたしております。

この成果指標につきましては、前期の基本計画、総合計画でも掲げておりましたが、学校生活を楽しんでいる児童の割合、生徒の割合を挙げております。

そして、69ページにつきましては、その下の、いわゆる基本事業という形で、5つの基本事業名を掲げておりますが、まだ大まかな書き方がございますけれども、今後、肉づけをしていき、この基本事業についても、それぞれの成果指標を掲げる予定といたしております。

続きまして、72ページでございます。こちらが文化に関する部分でございます。

成果指標については、2点を掲げております。文化、芸術、歴史に触れる機会が恵まれていると思う市民の割合と、山口の文化、芸術、歴史に誇りや愛着を持っている市民の割合を成果指標として掲げております。

73ページの基本事業におきましては、関連する部分として、2番、3番、芸術鑑賞機会の拡充と文化を担う人材育成、または、3の郷土の歴史や文化の保護・継承のこのあたりが教育関連分となっております。この部分についても、さらに精度を上げていく予定といたしております。

以上、施策別計画の教育関連部分を御説明いたしましたけれども、この計画では、124ページでございますけれども、各21地域ごとの地域づくり計画をまとめたものとして、地域づくりの方向性として総合計画の中に位置づけて、あわせて計画の中に入れ込んでいくというものでございます。こちらは、現在の総合計画ではなかった新たな位置づけという形で記載をしてございます。

素案の説明は以上でございますけれども、この素案につきましては、今

	<p>後さまざまな御意見などを踏まえまして、さらに、よりよいものに精度を上げていくこととしておりまして、作成または変更、例えば指標なども変わる可能性もございます。</p> <p>今後のスケジュールにつきましては、12月にパブリックコメントを行い、最終案を来年の1月にお示しをして、3月議会の上程を予定いたしております。</p> <p>また、現在策定中でございます教育振興基本計画は、この総合計画の分野別計画という位置づけでございますので、計画の内容の方向性等については整合性を図りながら、策定作業を進めているところでございます。また、そちらの素案ができましたら、また改めて御説明をさせていただきたいと思っております。</p> <p>説明については以上でございます。</p>
宮原委員長	<p>それでは、この件について御意見や御質問はありませんか。</p> <p>私からの質問ですが、今後、教育委員会としてはどういう流れで進めていくことになるのですか。御意見を申し上げる機会はございますか。</p>
原田教育総務課長	<p>先ほどもありましたように、11月末に、市議会への説明会を開催する予定としております。その後、パブリックコメントを行いまして、1月に最終案という形でお示しする予定でございます。</p> <p>したがいまして、10月中ぐらいに、御意見を頂戴できれば、可能な限りの反映ができるものと考えております。</p>
中谷教育部長	<p>パブリックコメントが始まりますので、それを踏まえた修正も入りますので、11月、もしくは12月の中旬ぐらいまでであれば、修正は可能でございますので、何か御意見がございましたら、教育総務課へお知らせください。</p>
宮原委員長	<p>12月の中旬ぐらいですね。</p>
中谷教育部長	<p>そうですね。先程、課長が説明申し上げました基本構想部分と、それから前期基本計画部分という2つの構成になっております。</p> <p>その内、基本構想部分については、山口市の場合、議会の議決を要する事項として条例で規定しておりまして、これについては、11月の終わりに、市議会に説明をして、その議論を踏まえての議案として3月議会に出す手はずになります。この基本構想部分が修正ということになると、かなりの影響が出る可能性もございますので、御意見がある場合には、早目におっしゃっていただければ助かります。</p>
宮原委員長	<p>基本構想部分が11月末前に、11月の中旬ぐらいですね。それから、あとは12月の中旬ぐらいまでということですか。</p> <p>本日、御説明していただいたところで、何か御意見や御質問はありませんか。</p> <p>11月だと、24日が定例会になりますね。そのときで。</p>
中谷教育部	<p>もしくは、何らかの形で質問を、要望を含めて出していただいて、1</p>

	<p>長 1月定例会のときに、御回答をさしあげるといふことではいかがでしょうか。</p>
	<p>原田教育総務課長 質問等がございましたら、11月定例会前に出していただいて、それに対する御回答を準備したいと思います。</p>
	<p>宮原委員長 そうですね。わかりました。ということは、その前に提出するように、準備していただけますか。</p>
	<p>原田教育総務課長 はい。</p>
	<p>宮原委員長 ありがとうございます。 それでは、よろしいでしょうか。 続きまして、報告第2号の平成29年度全国学力・学習状況調査における山口市の結果概要の公表について、事務局から説明をお願いします。 江山課長。</p>
	<p>江山学校教育課長 本日の資料②でございます。平成29年度全国学力・学習状況調査における山口市の結果概要についてということで、前回の会議でも御確認いただきましたが、この主な部分について、山口市のホームページに公表をしております。 各学校においては、この結果概要をもとに、今までもテスト後に自己採点をして取り組んでおりますが、もう一回、確認をしていただくということ。また、一番後ろにある各学校事例については、校長会等でもしっかり周知をし、各学校が取り組みの参考にしていただけたらと考えております。 なお、明日、山口県独自の学力定着状況確認問題というテストを実施いたします。山口県は、春のこの全国学力・学習状況調査に合わせたテストと秋の学力定着状況確認問題という2回のテストを行っておりまして、その間のPDCAサイクルを回すなかで、学力の向上を図ってまいります。秋のテストが、明日10月25日水曜日に、小学校3年生、4年生、5年生、6年生と中学校1年生、2年生を対象として県内全体で行われます。また、春の得点と、この秋の得点とで、学校の取り組み等の確認をすることになっております。 説明は、以上でございます。</p>
	<p>宮原委員長 ありがとうございます。 報告第2号について、御意見や御質問はございませんか。よろしいでしょうか。 私から関連した質問ですけれども、春に全国と山口県の調査があつて、秋に山口県の調査があるとのことですが、対象学年と科目はどうなっていますか。</p>
	<p>江山学校教育課長 春の全国学力・学習状況調査は、小学校6年と中学校3年を対象で、科目は小学校6年が国語と算数、中学校3年が国語と数学でございます。</p>



	<p>て、全国的な公表を行っております。また、それと同時に山口県が独自に小学校3年から5年、中学校1年、2年を対象としたテストを実施しております。各学校がそのテストデータを保有しております。なお、科目につきましては全国学力・学習状況調査と同じで、小学校が国語と算数、中学校が国語と数学でございます。</p> <p>秋の山口県独自のテストにつきましては、対象は先ほども申しましたように、小学校が3年生から6年生、中学校が1年生、2年生でございます。その科目は春と同様でございます。ただし、小学校5年生には理科と社会が、中学校2年生には理科と社会と英語が加わるものでございます。</p>
宮原委員長	<p>わかりました。 ほかにはございませんか。</p>
山本委員	<p>関連でよろしいですか。 私もこの報告をいただいて、文科省のテストを全部引っ張り出して、ざっと見てみますと、B問題が比較的取りつきやすくなってきていると思ったのですが、このB問題の成績が上がってきているというのは、先生方がいろいろな工夫をされておられる結果だろうと好意的にみています。 ただ、これは、全国平均を100として、いわゆる相対的な比較になります。絶対的には、B問題の方が低いのですか。今年は、B問題がちょっと高かったですよね。</p>
江山学校教育課長	<p>例年に比べると、今年はB問題が高くなっております。</p>
山本委員	<p>取りつきやすい問題になってきているのかなというふうには思いましたが、テスト全体を見て、小学校の算数のBは、子どもたちにとって随分やっかいな問題が多いなと思いました。 そんな中で、成績を保っていらっしゃるということは、素晴らしいことだなと思ったところです。それに加えて、いろいろな学校の取り組みというのが書いてありますが、私も学校訪問では、先生方が、学習課題を明確にしながら落ち着いて授業をされ、子どもたちの様子もしっかりと見ておられる姿を確認することができたところです。 ただ、もったいないなと思うのは、先生方がものすごく丁寧にノート指導をされておられます。「課題を書きましょう。書いたかね。」と言い、書き終わるまでは次に進みません。黒板の板書を子どもたちは丁寧に書き写している。ノートに書き写すだけで、子どもたちの能力にかわっていくのかという問題があると思います。 はたして、これほど丁寧にノートに書いている子どもたちが、自分たちのノートを復習で見ているのかなと、思ったところです。 私は、年をとってくると、人の名前が覚えられない、物事が覚えられ</p>

	<p>ないので、大事なことはノートに書いて、それを2回、3回と繰り返して見て、やっと覚えられるというぐらいですけれども、子どもたちは、あの丁寧に書いているノート、指導を受けているノートを、家に帰って1回見るだけで、絶対に学力が変わってくると思います。極端に言うと、その見直した日付をノートの隅に書いて、何回見たかということを奨励するだけで、学力はものすごく向上するのではないかということを、学校訪問を通じて感じたところです。</p> <p>以上です。</p>
	<p>宮原委員長      ありがとうございました。ほかにありませんか。</p> <p>                         以上で、本日の付議案件については終了いたしました。</p> <p>                         次回の定例会は、こちらの第2会議室で、11月24日（金）午後2時からの予定です。</p> <p>                         以上をもちまして、平成29年第13回教育委員会定例会を閉会いたします。お疲れさまでした。</p>
署名	<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p>平成29年10月24日</p> <p style="text-align: right;">委員長 _____</p> <p style="text-align: right;">署名者 _____</p> <p style="text-align: right;">署名者 _____</p> <p style="text-align: right;">会議録調製 _____</p>